

より大きい神界からの救い、

大力淨

明主棧御真第

と思ひますが、私共はこの際に、今一度いかなる心構えをもつて御昇天祭を迎へさせていたかへきか、或は迎へさせていたのだかを、お互ひに考え反省させていだきたいと存じます。

愈々天の時來つて、私共の罪を許し、一人でも多くの者を永遠に救ふんとされる神様の大愛の御心をうけてこの世にお預け下さった数々主・明主様は、お肉休を通しての御神業をすべて終へられ、昭和三十年二月十日に御昇天になられ、神界にかへられたのであります。主神よ

れますし、明主様のなされる一つの事には、幾つもの御経論が含まれていること（教二・42）も御説きいただいて居ります。中でも最も重要な御神業は、恐らく「主神直接の啓示」によって、今まで誰もが説き得なかった「真理の深奥」をあかしかし、「旧文明中の謬誤の是正と新文明構想の指針」を示された御神書の御執筆までおありになったのではないかと思います。活字や御言葉にあらわして下さったからこそ、私共でさえも「真理其のもの」の「また『神様の御心』の片鱗にふれさ

二月十日には、御昇天祭を迎えさせて
いただくわけであります。本紙が皆様の
お手もとにとどくのはもっと後日になる

御昇天祭を迎え
させていただいて

黎的

発行所
京都市左京区吉田神楽岡町3
有限会社洛東社
郵便番号606
電(771)2022 番
定価1部30円

御昇天祭・
立春祭号

行われたのであります。そのために「神様が色々な方法を以て救いの業をされる。私はその執行機関です」とどうしても靈ばかりでは世の中は救われない。世の中は物質で出来てますから、それには生きた人間が唱進しなければ駄目です。そういう仕事を私がさせられているわけなのです。ですから時の経つに従って追々それが具体的に現われて来ます」(教・15・31・32)と御説き下さって居りますように、明主様が救い主としての大使命を遂行するためには、御肉体をもつてされなければならなかった御神業

神が「書かへ」一人でも多くの人間を救へよ」といふ「救ひの神」を「我」がたの最後の「救ひの神」として世の中に正しく早く伝えられることが、明主様の御神業の中でも最も根本的なことでありになったに違いないと思います。

明主様は、御肉体をもってこれらの「天国樹立の基礎的準備」を「今は甚だ小規模ではあるが、非常なスピードを以て」進められ、それから「一切が奇蹟に次ぐ奇蹟の連続」で「おありになった」のであります。「そうして之を仔細に検討」して見る時、神は何万年前から細大漏らす

り、その直接的な救ひの御力と、御教養をゆだね命を帯びて出願された明王様は、「真理の深奥を説き、人類最後の救いを実行」されたと共に「新文明世界設計に就ての指導的役割をも併せ」

せていただく文章は、万人に解り得るよう神が指示され給うたのである（「地28」）。「私が説く処の諸々の言説は、真理そのもの、万人に最も解り易く宣示する以上、読む人は何物にも捉わるる事なく虚上、頑固熱誠玩味すれば劈解として真理は頭脳に浮ぶであらう」（衆18）とお説きはいただいて居ります。そして、これらの

明主様は、御肉体をもつてされなければならなかつた御神業をすべて終へらるゝられて、今度は御肉体の制約なしに、更に高い大きな救主としてののみ業に入られたのが、昭和三十年二月十日の御昇天の日であつたと申し上げてよいのではないかと思ひます。

てより大きな救いの御力を私共にもふり
て下さっている」と推察させていただけ
と思っています。

ここで、私共が今一度反省させていた
だかなければならないと思いますことは
明主様が、御内体による御神業をすべ
て終えられ、神皇からの御救いに入られ
ました時に、冲根根源の御力は直接にあ
りて下さっているわけではありますが恐

御神樂の御中、恐らく最も力をお入れになり、重要であつたと思われます御教えの御執筆に關しましても、ある御神書に於ての説明をされた時に「このあたはもう書く必要がないから書きません、(中略)これによって人間の病氣は全部解決した、人間死めまづ病氣にかからないで無病息災で居られる」という原理を書いてありますから、この本を冊読めばもう病氣の心配というものには無くなるのです。(中略)これなどどうしても徹底的に分るわけです」(教18)

下さったものと思ふ。特に、御神書と御淨靈の御力を世の中の人々に一日も早く、正しくお伝えし、明主様こそ救い主であらせたいことを一人でも多くの人々が覚らせていただき、私共の罪を心より悔改め、来るべき大転換期をむかえる準備のお手伝いのお許しをいただくことが、恐らく明主様が御昇天の時に私共によだねて下さった役割と申し上げてもよいのではないかと思ふ。

しかし、御昇天以来十六年の間に、私共はどれだけこの明主様の御心におこた

明主様に託された使命だそう

がおありになったと推察させていただきましたのであります。勿論、私共には、それから一つ一つの深いことを分らせていただくのは出来ないことでありますし（教11・30）私共の身魂相応に覺らせていただくことであります。

越なく、慎重密なる準備をされていた事である。之は明瞭に看取出来るが、其の根本は旧文明の清算と新文明の構想にあるのであって、私はそれに対し實際を裏付けとした理論を、徹底的に此の著を

す体があると邪魔になりますから」(179)とお答えいただいたて居ります。

明主様は今や、御肉体による制約なしに、神界から世界中の人々を一人でも多く救つて下さるために、救い主とし

た、平生の一分の時間すら惜しまれて無駄にされなかつたともうかがって居ります。この明主様の御姿を拝させていただいた時に、私はあの十六年間の自分自身のあり方をふりかえらせていただき、何

「明主様が、御肉体をもつてなされた数々の御神業の中には、非常に霊的な御教いも含まれていたように御垂示いただいたて居ります。」(案83)(案128)(教33・33)(教4・91)(教21・17)(教21・34)また「型」による御経教(教11・45)(教27・32)も数多くされて居られます。明主様のなされた一つの事に、幾つもの御経輪が含まれていること

この日午前十時半から教に打
きまして、御聖書を通じ神の絶
対の真理を説かれ、御肉体病つ
てゐる、きぬの衣をまへて成
し遂げられ、あふん健康を賜は
れて救はんとする御情に父
され、お聖子さまを御怒りをせよ
といたされました。

なものであります。
しかも、明主様はこの十六年の間に数限りない御守護を私共と与えて下さいました。黎明教会の私共一人一人にいたしましてまいりました御守護のどれ一つを考へてまいまして、そこには明主様の大愛の御心をひしひしと感じさせて下さいるわけであります。



2月10日御昇天祭
 謂をいなき、明王様が御内体で
 なすべきことをされたのは千半
 足らずの所であるが、御万葉集
 後、信者は先づ「御教を全体的
 のさしていただいた」と云「皆
 無」に改めていたが、今も「た
 んだてん」を、今も心を「た
 して御教を御賜に遊ばせたい」
 だ」と云う信徒が数い合いました。

御昇天祭を迎えさせていただくにあたりまして、私共はこれまでの十六年間の自分自身のあり方を深く反省させていただくと共に、今後主様が私共にゆだねられて居ります御役割に全身全霊をうちこませていただき、今までに賜わりました御恵みの万分の一たりともお報いさせていただきますこととお誓い申し上げ次第であります。

この日前十時半から教会に打
さまして、御神書を通じ神の秘
書の真理を説かれ、朝に休を告げ
てをさるゝさ救ひの業すつて成
し遂げられ、あはれは主の間に託
して救ひ主との御仕事に入
れた。記念すべき御前をさまで
いたなまました。

御祭りの際、会衆死者の祈

2月10日御昇天祭
 御心をなだめ、明王様が御体でなすべきことをなされ、今は十年に足らずの間で、この御昇天祭、信者はすべてお佛堂を具体的に建てていただいたと王様は喜ばれておられる。今後心を一つにして御教を信じて御道に進んでいただくことを希望が誓い合います。

[illegible]

おかげ話



キリストは「天の福音をすべての人に伝えよ、しる後世の救済を」の言葉を遺して去られた。その言葉をとり、天の福音を世に伝えるべく、最後の救主として主として現れた。天の福音を世に伝えるべく、最後の救主として主として現れた。天の福音を世に伝えるべく、最後の救主として主として現れた。

急にマヒした足

御浄霊1か月「1人で歩ける」

池田すみ子

この喜びわが子の背髄炎救われて

私が入院していたのは、昭和三年十一月で、ある日突然に父が急死した。父は、昭和三年十一月で、ある日突然に父が急死した。父は、昭和三年十一月で、ある日突然に父が急死した。

ご参拝、教修、即日入信

大学入院3日前の御守護 馬淵孝子

余は、昭和三年十一月で、ある日突然に父が急死した。父は、昭和三年十一月で、ある日突然に父が急死した。父は、昭和三年十一月で、ある日突然に父が急死した。

大浄化いくたび

勿体ない御救いの数々

森中とき

私が救世主様と知り合ったのは、昭和四年九月です。その時、私は、昭和四年九月です。その時、私は、昭和四年九月です。その時、私は、昭和四年九月です。

難病にこの奇蹟

私の便秘、孫の耳血腫治る

藤井きく

長い間の便秘で、お困りなさいました。昭和四年九月です。その時、私は、昭和四年九月です。その時、私は、昭和四年九月です。その時、私は、昭和四年九月です。

